

## 小羊をたたえる歌

ヨハネの黙示録一五章一〜8節

主よ、誰があなたの名を畏れず 崇めずにおられましょう。  
聖なる方は、あなただけです。あらゆる国々の民が来て あ  
なたの前にひれ伏すでしょう。(4)

神によつて救われた者たちが小羊なる主をたたえる歌を歌います。地上の王が  
獣のように振る舞い、自分たちこそ世界の王であると主張する中で、それに逆ら  
うようにして「あなたこそ王」との信仰を告白します。まことの神を知った者だ  
けが出来る告白です。その賛美の中で、「あらゆる国々の民が来て／あなたの前  
にひれ伏すでしょう」と歌われています。現実の世界では、ローマ国内に住む  
あらゆる国民は皇帝を伏し拝むように強要されてきました。しかし、やがての日、  
全ての民が主を礼拝する日が来るのを預言したのです。最初のクリスマス、世界  
の王として来られた小羊を礼拝したのは、羊飼いたちや東の国の博士たちなどわ  
ずかな人々だけでした。今も、状況は変わらないかもしれません。このクリスマ  
ス、私たちは全ての民を代表して、小羊なる主に真の礼拝をささげましょう。